



お父さんにもお母さんにも似ているのはなぜ

お父さんとお母さんの子どもだから

赤ちゃんが、お母さんのおなかの中で育ち、生まれてくることはだれでも知っています。しかし、赤ちゃんは、お父さんとお母さんが、協力しなければ生まれません。赤ちゃんの命は、お父さんの体の中にある精子というものと、お母さんの体の中にある卵子というものが、いっしょになったときに始まります。ですから、お父さんとお母さんの子どもである赤ちゃんは、どちらにも似ているというわけです。

似ているのは遺伝子のせい

わたしたちの体は、小さな小さな細胞からできていて、その数は全部で 60 兆もあるといわれています。筋肉も骨も、内臓も、みんな細胞が集まってできているのです。精子や卵子も細胞です。精子や卵子など細胞には、遺伝子というものがあります。遺伝子は、親の顔つきや体つきなどの特徴を、子どもに伝えるための、設計図のようなはたらきをするものです。その設計図をもとに、赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で育つのです。そのため、子どもは、親の顔つきや体つきと、同じような特徴をもっており、お父さんにも、お母さんにも似ているのです。（監修・保志 宏）

